

## 委員長報告書

委員会名	総務産業委員会
審査年月日	令和 8 年 1 月 29 日
議案名	議案第 1 号 令和 7 年度諏訪市一般会計補正予算(第 8 号)
内容	<p>総務費は、補正額 3 億 2,487 万 5,000 円で、総務管理費に食料品等の物価高騰対策として実施する、デジタル又は紙による利用のどちらかを選択可能な「SUWA 生活応援クーポン」の発行に要する経費が計上された。商工費は、補正額 450 万円で、商工費に物価高騰に直面する中小企業を支援するため、AI・IoT 導入支援事業補助金や新技術・新製品開発費補助金を増額するとともに、既存事業に国の交付金を充当する財源振替が行われるもの。</p>
主な質疑	<p>問 SUWA 生活応援クーポンに関して、紙クーポンは2,500円を2枚のことだが、金額が大きいので1,000円単位の方が使い勝手が良いのではないか。</p> <p>答 全市民に圧着タイプの通知を送り、圧着部分を開くと電子クーポンとして使える。圧着を開かずに店舗へ持つていけば2,500円単位の紙クーポンが2枚使える仕組みを想定している。金額をより細かく刻もうとすると紙クーポンの枚数を増やすなければならず、技術的、予算的問題や市民の利便性を総合的に考え全体で国が想定する3,000円に2,000円を上乗せして、5,000円、1枚あたり2,500円とした。</p> <p>問 電子クーポンの利用者を 9 割と想定しているとのことだがその根拠は。</p> <p>答 民間企業が発行しているモバイル社会白書によるとスマートフォンの普及率が98%。70歳以上でも90%を超えている。それを踏まえて想定した。</p> <p>問 SUWAデジチケットの時は利用者向けに講座を開いたが今回も検討しているのか。</p> <p>答 利用者向けの講座だけではなく、SUWAデジチケットと違い紙クーポンも併用となることから、事業者の手続きが煩雑となるため、事業者向けの説明会の開催も検討している。</p> <p>問 AI・IoT 導入支援事業補助金と新技術・新製品開発費補助金の申請見込みは。</p> <p>答 AI・IoT 導入支援事業補助金が9社、新技術・新製品開発費補助金が12社申請する見込み。</p>

討論	無し
審査結果	全会一致可決